

コマンドリファレンス

EX-TREND 官公庁 Ver.18 のコマンド内容をご紹介します。

※解説内容がオプションプログラムの説明である場合があります。ご了承ください。



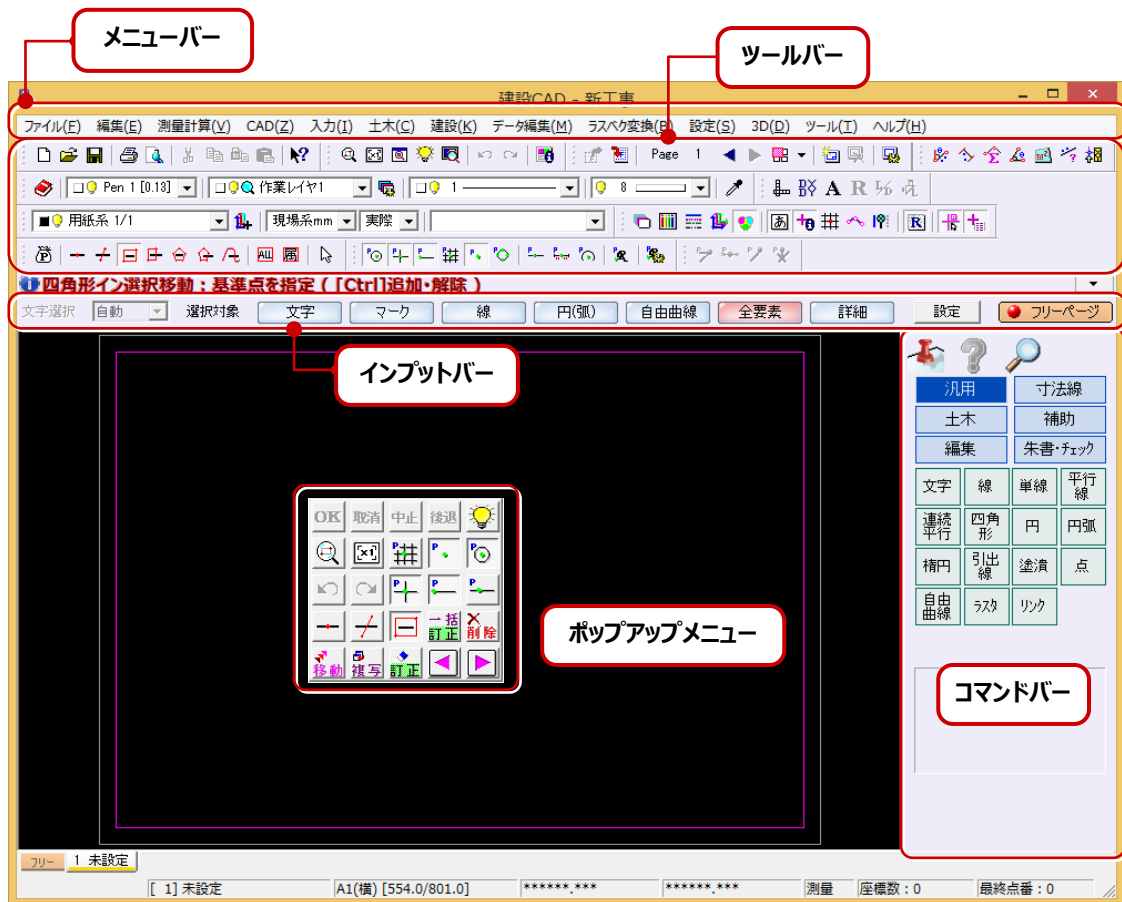
目次

建設CAD コマンドリファレンス

1	建設CADの画面構成	1
2	建設CADのコマンドの紹介	2
2-1	CADのメニューバーのコマンド	2
	[ファイル]メニューのコマンド	2
	[編集]メニューのコマンド	3
	[測量計算]メニューのコマンド	4
	[CAD]メニューのコマンド	4
	[入力]メニューのコマンド	6
	[土木]メニューのコマンド	9
	[建設]メニューのコマンド	12
	[データ編集]メニューのコマンド	12
	[ラスベク変換]メニューのコマンド	14
	[設定]メニューのコマンド	14
	[3D]メニューのコマンド	17
	[ツール]メニューのコマンド	17
	[ヘルプ]メニューのコマンド	18
2-2	座標入力のメニューバーのコマンド	19
2-3	座標プロットのメニューバーのコマンド	20
2-4	トラバース計算のメニューバーのコマンド	20
2-5	杭打ち計算のメニューバーのコマンド	21
2-6	線形計算のメニューバーのコマンド	22
2-7	縦断線形のメニューバーのコマンド	24
2-8	横断丁張のメニューバーのコマンド	25
2-9	舗装展開図のメニューバーのコマンド	28
2-10	擁壁展開図のメニューバーのコマンド	28
2-11	法面展開図のメニューバーのコマンド	29
2-12	3次元設計データ作成のメニューバーのコマンド	29

1 建設 CAD の画面構成

建設CADの画面まわりの機能を確認します。



建設 CAD の画面構成

メニューバー	すべてのコマンドが関連するコマンドごとにメニューで分類されています。
ツールバー	メニューバーのコマンドの中で使用頻度の高いコマンドが用意されています。
インプットバー	データ入力・編集時に各項目を設定し、データを入力します。表示される設定項目や実行ボタンは、現在使用しているコマンドや状態に応じて切り替わります。
コマンドバー	分類別に機能を分けて配列されています。 [汎用][土木][編集][寸法線][補助][朱書・チェック]の6つのグループに分けて配列されています。各グループのボタンをクリックすると、下のコマンドが切り替わります。
ポップアップメニュー	CAD画面上で右クリックすると表示されます。 作業の確定・中止・再表示など、よく使用されるコマンドが用意されています。 コマンドの履歴は初期状態で5つまで表示されます。 表示する履歴数は、[設定]-[ポップアップカスタマイズ]で変更できます。







2 建設 CAD のコマンドの紹介







2-1 CAD のメニューバーのコマンド

















CADのメニューバーのコマンドを紹介します。

[ファイル]メニューのコマンド

新規作成 ()	工事を新規作成します。
開く ()	建設 CAD で作成した工事データ(MSS)を開きます。
上書き保存 ()	編集中的数据を上書き保存します。
名前を付けて保存	データを指定した名称および保存場所で保存します。
作業の選択	工事ファイルの処理、各種測量計算を起動するダイアログを表示して作業を選択します。
工事の情報	工事情報を設定します。
工事の合成	工事データを合成します。
発注図を開くガイド	発注図を開く場合の操作ガイドを表示します。
外部ファイル設定	外部ファイル読込時の設定をおこないます。
外部ファイルを開く	外部ファイルを開きます。
外部ファイルへ保存	外部ファイルを保存します。
SXF 一括保存	全ての図面を SFC/P21 データに一括変換して保存します。
DXF/DWG 一括保存	全ての図面を DXF/DWG データに一括変換して保存します。
画像出力	図面を画像データ(JPEG・TIFF)で出力します。
Google Earth 出力	図面の情報を Google Earth 上に表示できるファイル(*.kmz)を出力します。
拡張 DM ファイルを開く	拡張 DM ファイルを開きます。
PDF 取込アシスト	PDF ファイルをラスター・ベクタ変換して配置します。
福井コンピュータ連携－ BTV・BTXA データを開く	測量計算 CAD システム:BLUETREND XA、BLUETREND V、EX-TREND Win のデータを開いて、建設 CAD のデータにコンバートします。BM コンバータをインストールしている場合に有効です。
福井コンピュータ連携－BX互換ファイルを開く	BX 互換ファイルを読み込みます。
福井コンピュータ連携－ TREND-FIELDデータ(.XFD)を開く	弊社の現場端末システム《TREND-FIELD》で出力した連携ファイルを開いて、建設 CAD のデータにコンバートします。
福井コンピュータ連携－ TREND-COREデータ(.XFD)を開く	弊社の《TREND-CORE》で出力した連携ファイルを開いて、3 次元設計データ作成に読み込みます。
福井コンピュータ連携－ TRENDffデータ(.MFF)を開く	TRENDff のデータを開いて建設 CAD のデータにコンバートします。
福井コンピュータ連携－ 施工CADデータ(.EXG)を開く	施工 CAD のデータを開いて建設 CAD のデータにコンバートします。BM コンバータをインストールしている場合に有効です。

[ファイル]メニューのコマンド	
福井コンピュータ連携-BX互換ファイルへ保存	現場内に存在する座標データ・図面データを BX 互換ファイルに変換して書き込みます。
福井コンピュータ連携-TREND-FIELD 路線データ(.XRF)へ保存	3次元設計データ作成、線形計算で作成した路線データを、TREND-FIELDの[縦断観測][横断観測]で読み込めるデータ(xrf)としてファイルに書き込みます。
福井コンピュータ連携-TREND-FIELD データ(.XFD)へ保存	現場内に存在する座標データ・CADデータ・リンクデータ・基本設計データ・路線データを、TREND-FIELD 連携ファイルに変換して書き込みます。
福井コンピュータ連携-TREND-CORE データ(.XFD)へ保存	3次元設計データ作成、線形計算で作成した基本設計データ・路線データを、TREND-COREで読み込めるデータ(XFD)としてファイルに書き込みます。
福井コンピュータ連携-TREND-POINT データ(.XFD)へ保存	3次元設計データ作成、線形計算で作成した基本設計データ・路線データを、TREND-POINTで読み込めるデータ(XFD)としてファイルに書き込みます。
福井コンピュータ連携-[「インデックス」]に成果を登録	インデックスから建設CADを起動している場合に有効です。
印刷範囲の設定	印刷範囲を設定します。
印刷	図面を印刷します。
印刷プレビュー	実際にどのように印刷されるかをプレビューします。
プリンタの設定	プリンタの機種の変更や詳細な設定をおこないます。
ページ指定印刷	ページを指定して印刷します。
アプリケーションの終了	アプリケーションを終了します。
[編集]メニューのコマンド	
元に戻す ()	直前に行った CAD 操作を元の状態に戻します。
やり直し ()	[編集]-[元に戻す]コマンドで実行した内容を取り消します。
切り取り ()	現在選択しているデータをクリップボードに移動します。データが選択されていないときや切り取ることのできないデータを選択しているときこのコマンドは使用できません。
コピー ()	現在選択しているデータをそのままの状態にしてクリップボードに保存(コピー)します。データが選択されていないときやコピーできないデータを選択しているとき、このコマンドは使用できません。
コピー[範囲指定] ()	四角形範囲を指定して、範囲内のデータをクリップボードに保存(コピー)します。
貼り付け ()	クリップボードの内容を貼り付けます。クリップボードに何も保存されていないときや貼り付け場所がふさわしくないとき、このコマンドは使用できません。
クリア	選択している[オブジェクトの作成と貼り付け]コマンドで挿入したOLEデータを削除します。
形式を選択して貼り付け	クリップボードの内容を指定した形式で貼り付けます。
EXCEL 貼り付け	クリップボードのExcelデータの内容を取り込みCADデータに変換して配置します。
オブジェクトの作成と貼り付け	ワープロやドロー作成などのオブジェクトを挿入します。

[測量計算]メニューのコマンド	
リンクの設定	オブジェクトに設定されているリンク情報を表示および変更します。
オブジェクト	選択したオブジェクトを開きます。
測量計算データ起動	配置したCADデータから測量計算データを開きます。
測量計算データ管理	測量計算データの複写・削除・名称変更などをおこないます。
座標入力	座標入力を開きます。
座標プロット	座標プロットを開きます。
トラバース計算	トラバース計算を開きます。
杭打ち計算	杭打ち計算を開きます。
線形計算	線形計算を開きます。
縦断線形	縦断線形を開きます。
横断丁張	横断丁張を開きます。
出来形展開図-舗装展開図	舗装展開図を開きます。
出来形展開図-擁壁展開図	擁壁展開図を開きます。
出来形展開図-法面展開図	法面展開図を開きます。
線形 XML-基本設計データ読み込み	建設 CAD、または他アプリケーションより出力された基本設計データ (*.xml)を読み込みます。
線形 XML-基本設計データ書き込み	線形計算、縦断線形、横断丁張のデータを元に、道路中心線形 (平面線形、縦断線形)、横断面形状の情報を取得し、計測対象点の情報などを付加した基本設計データを出力します。
線形 XML-道路中心線形データ読み込み	建設CAD、または他アプリケーションより出力された道路中心線形データ (*.xml)を読み込みます。
線形 XML-道路中心線形データ書き込み	線形計算、縦断線形、横断丁張のデータを元に、道路中心線形 (平面線形、縦断線形)の情報を取得し、プロジェクト情報などを付加した道路中心線形データを出力します。
線形XML-LandXMLデータ書き込み	座標入力、線形計算、縦断線形、横断丁張のデータを、LandXML <small>データに変換します。</small>
[CAD]メニューのコマンド	
OK ()	連続してデータを入力する場合などで、最終的に確定する場合に使用するコマンドです。
後退 ()	データの入力処理の過程、または編集処理の過程で 1 つ前の入力状態に戻します。
取消 ()	確定前の入力データやデータの選択範囲などを取り消す場合などに使用するコマンドです。
中止 ()	実行中のコマンドを終了して、コマンド選択、またはオブジェクト選択状態にします。
ページ追加 ()	ページを追加します。最大 100 ページ (フリーページ含まず) まで追加できます。
ページ挿入 ()	ページを挿入します。最大 100 ページ (フリーページ含まず) までページを挿入できます。
ページ複写	ページを複写します。最大 100 ページ (フリーページ含まず) までページを複写できます。














[CAD]メニューのコマンド	
ページ削除 ()	ページを削除します。
ページ一括削除	複数のページを一括して削除します。
ページ移動前 ()	前のページへ移動します。
ページ移動後 ()	後ろのページへ移動します。
ページ一覧 ()	ページを一覧表示して、編集するページを選択します。
ページ合成 ()	編集しているページに他のページのデータを合成します。
ページフリーページ領域の設定 ()	フリーページに領域を設定します。設定した領域内を[フリーページ領域の配置]コマンドで通常ページに配置できます。 ※このコマンドはフリーページでのみ有効です。
ページフリーページ領域の配置 ()	[フリーページ領域の設定]コマンドで設定した領域を通常ページに配置します。※このコマンドは通常ページでのみ有効です。
表示拡大 ()	指定範囲を拡大します。
表示倍率拡大 ()	表示範囲を、一定倍率で拡大表示します。
表示倍率縮小 ()	表示範囲を、一定倍率で縮小表示します。
表示移動 ()	表示範囲を移動します。
表示原図 ()	原図領域が最大表示されるようにします。
表示原図領域 ()	表示範囲を、原図コマンドで表示する「原図領域」に設定します。
表示原図領域(2点指定) ()	四角形対角2点指定で、原図コマンドで表示する「原図領域」に設定します。
表示データ領域 ()	データ(ラスタデータも含む)が画面内に収まるように表示します。
表示前表示 ()	表示範囲、表示率を1つずつ戻します。 ただし、戻せる回数は5回までです。
表示再描画 ()	画面内容を表示し直します。
表示文字列検索 ()	指定した文字列を検索して、画面の中心に表示します。
表示図面モニタ ()	用紙の全体図でイメージ表示する図面モニタの表示、非表示を切り替えます。
表示ルーペ ()	CAD画面内のマウスポインタの位置を中心とした拡大画面を表示するルーペの表示、非表示を切り替えます。
表示拡大鏡 ()	CAD画面内のマウスポインタの位置を拡大表示する拡大鏡の表示、非表示を切り替えます。


















[入力]メニューのコマンド	
文字- 文字列 (<input type="text" value="文字"/> - <input type="radio"/> 文字列)	文字列を入力します。
文字- 複数行 (<input type="text" value="文字"/> - <input type="radio"/> 複数行)	文章を入力します。また、テキストファイルから文章を読み込んで入力することも可能です。
文字- 赤書き (<input type="text" value="文字"/> - <input type="radio"/> 赤書き)	赤書きを入力します。
文字- 見消 (<input type="text" value="文字"/> - <input type="radio"/> 見消)	文字を見消します。
線-連続線 (<input type="text" value="線"/> - <input type="radio"/> 連続線)	図面上の任意位置を指定して、直線を連続入力します。
線-単線 (<input type="text" value="単線"/>)	図面上の任意位置を指定して、単線を入力します。
線-垂線 (<input type="text" value="線"/> - <input type="radio"/> 垂線)	基準線(直線、円、円弧)から、垂線を入力します。
線-折線 (<input type="text" value="線"/> - <input type="radio"/> 折線)	折れ線(直角固定折線)を連続入力します。
線-接線 (<input type="text" value="線"/> - <input type="radio"/> 接線)	円、円弧に対して、他の円、円弧または指定した点に接線を入力します。
線-二等分線 (<input type="text" value="線"/> - <input type="radio"/> 二等分線)	基準となる線を指定し、その基準線に対して二等分線を入力します。
線-平行線 (<input type="text" value="平行線"/>)	基準となる線を指定し、その基準線に対して平行線を入力します。
線-連続平行線 (<input type="text" value="連続平行線"/>)	基準となる線に対する平行線を距離指定で入力します。
線-四角形 (<input type="text" value="四角形"/>)	四角形を入力します。
線-正多角形	正多角形を入力します。
円・円弧- 半径 (<input type="text" value="円"/> - <input type="radio"/> 半径)	中心、半径指定で円を入力します。
円・円弧- 直径 (<input type="text" value="円"/> - <input type="radio"/> 直径)	中心、直径指定で円を入力します。
円・円弧- 3点内接 (<input type="text" value="円"/> - <input type="radio"/> 3点内接)	3点を指定して、その3点内角に接する円弧を入力します。
円・円弧- 3点外接 (<input type="text" value="円"/> - <input type="radio"/> 3点外接)	3点を指定して、その3点に外接する円弧を入力します。
円・円弧-中心・半径・角度 (<input type="text" value="円"/> - <input type="radio"/> 中心・半径・角度)	中心点、半径、円の開始角・終了角を指定して円弧を入力します。
円・円弧- 2点半径 (<input type="text" value="円"/> - <input type="radio"/> 2点半径)	円弧の始点・終点、半径指定で円弧を入力します。
円・円弧- 接円弧 (<input type="text" value="円"/> - <input type="radio"/> 接円弧)	基準線指定で接円弧を入力します。
楕円・楕円弧- 楕円 (<input type="text" value="楕円"/> - <input type="radio"/> 楕円)	中心半径指定で楕円を入力します。
楕円・楕円弧- 楕円弧 (<input type="text" value="楕円"/> - <input type="radio"/> 楕円弧)	中心半径指定で楕円弧を入力します。
寸法線-水平垂直(点間) (<input type="text" value="点間"/> - <input type="radio"/> 水平垂直)	任意にクリックした点間の水平・垂直距離の寸法を入力します。

[入力]メニューのコマンド	
寸法線-2点指示 (点間 - <input type="radio"/> 2点指示)	任意の2点を指定して、2点間の距離・方向角・斜距離を寸法入力します。
寸法線- 連続線 (点間 - <input type="radio"/> 連続線)	任意の各点を連続して指定し、各直線距離を寸法入力します。
寸法線-水平垂直(要素) (要素 - <input type="radio"/> 水平垂直)	要素指定で図形の水平・垂直距離の寸法値を入力します。
寸法線- 直線 (要素 - <input type="radio"/> 直線)	任意の各点を連続して指定し、各直線距離を寸法入力します。
寸法線-勾配 (勾配)	2点指定で勾配を寸法入力します。
寸法線- 半径 (半径 - <input type="radio"/> 半径)	円または円弧を選択して、半径を寸法入力します。
寸法線-円弧半径 (半径 - <input type="radio"/> 円弧半径)	円弧を指定して半径を寸法入力します。
寸法線-直径 (直径)	円または円弧を選択して、直径を寸法入力します。
寸法線-円周	円を選択して、円周を寸法入力します。
寸法線-3点内角 (角度 - <input type="radio"/> 3点の内角)	3点を指定して、3点の内角寸法を入力します。
寸法線-2線の夾角 (角度 - <input type="radio"/> 2線の夾角)	2線の夾角寸法を入力します。
寸法線- 弧長 (弧長 - <input type="radio"/> 弧長)	円弧データを選択して、円弧の長さを寸法入力します。
寸法線-連続弧長 (角度 - <input type="radio"/> 連続弧長)	円または円弧データを指定して区切った円弧の長さで、寸法を入力します。
寸法線-2点平行	直線、円、円弧に対して任意の点までの寸法補助線なしの寸法を入力します。
寸法線-要素と点の距離	直線、円、円弧に対して任意の点までの寸法補助線ありの寸法を入力します。
寸法線-寸法値再計算 (寸法再計)	寸法補助線の位置を移動して寸法値を再計算します。
寸法線-寸法合成 (合成)	寸法を合成します。
寸法線-寸法分割 (分割)	寸法を分割します。
寸法線-寸法高調整 (高さ調整)	寸法の高さを調整します。
引出線 (引出線)	要素を指定して、関連する文字列を引き出します。
塗潰し (塗潰し)	塗潰しを入力します。
点・マーク- 点 (点 - <input type="radio"/> 点)	任意位置を指定して、点を点要素として入力します。
点・マーク- マーク (点 - <input type="radio"/> マーク)	マークを入力します。
自由曲線- 入力 (自由曲線 - <input type="radio"/> 入力)	任意点を指定して自由曲線を入力します。
自由曲線- 平行線 (自由曲線 - <input type="radio"/> 平行線)	自由曲線の平行線を入力します。

[入力]メニューのコマンド	
部品ー作成	部品を作成し部品管理に登録します。
部品ー配置	部品を配置します。
部品ー管理	部品の名称変更、削除、部品のファイル化などをおこないます。
補助ー任意点 ()	任意の位置に補助点を入力します。
補助ー任意線 ( - )	任意の位置に補助線を入力します。
補助ー平行線 ( - )	基準線(連続線、上下線、補助線)を指定し、平行補助線を入力します。
補助ー角度線 ( - )	基準線(連続線、上下線、補助線)を指定し、その基準線に対して、数値入力した角度だけ傾いた補助線を入力します。
補助ーオフセット(要素指定) ( - )	線、円、円弧、クロソイド要素を指定し、端点からオフセット距離を設定して補助点を入力します。
補助ーオフセット(2点指定) ( - )	2点指定でオフセット距離を設定して補助点を入力します。
補助ー垂直点 ()	線・円・円弧・クロソイド要素を指定して、指定した要素に対しておろした垂直線上に補助点を入力します。
補助ー垂線の足(要素指定) ( - )	線・円・円弧・クロソイド要素を指定して、任意点から指定した要素に対しておろした垂線の足に補助点を入力します。
補助ー垂線の足(2点指定) ( - )	2点指定で、任意の点から指定した2点間の延長線上に対しておろした垂線の足に補助点を入力します。
補助ー4点交点 ( - )	4点を指定して、1点目と2点目を通る直線と3点目と4点目を通る直線の交点に補助点を入力します。
補助ー2円の交点 ( - )	円の中心点位置と半径数値を入力した2つの円の交わる点に補助点を入力します。
補助ー等分割(要素指定) ( - )	線・円・円弧・クロソイド要素を指定して、分割した点に補助点を入力します。
補助ー等分割(2点指定) ( - )	2点を指定して、指定した2点間を等分割した点に、補助点を入力します。
補助ー重心(多角形入力) ( - )	多角形指定範囲の重心に補助点を入力します。
補助ー重心(閉合図形選択) ( - )	閉合図形の重心に補助点を入力します。
補助ー全削除 ()	補助線・補助点を全削除します。
ラスター配置 ( - )	ラスタデータ(画像・写真)を配置します。
ラスター書込み ( - )	ラスタデータをファイルに書込みます。
ラスタートリミング ( - )	ラスタデータの一部を削除します。
ラスター削除 ( - )	ラスタデータを削除します。















[入力]メニューのコマンド	
ラスタ移動回転 (<input type="checkbox"/> ラスタ - <input checked="" type="radio"/> 移動回転)	ラスタデータを移動・回転します。
ラスタ四角形補正 (<input type="checkbox"/> ラスタ - <input checked="" type="radio"/> 矩形補正)	ラスタデータを四角形指定で移動・回転します。
ラスタ訂正 (<input type="checkbox"/> ラスタ - <input checked="" type="radio"/> 訂正)	ラスタデータを訂正します。
ラスタ前面へ	ラスタデータ内で描画順を前面へ変更します。
ラスタ背面へ	ラスタデータ内で描画順を背面へ変更します。
リンク編集 (<input type="checkbox"/> リンク)	要素へのリンクデータを編集(追加・変更・解除)します。
SXF 属性-属性マスタ	SXF 属性のマスタを設定します。
SXF 属性-属性入力確認	要素、パック(作図グループ)、ラスタデータ(画像)に SXF 属性を付加します。
SXF 属性-属性一覧	要素、パック(作図グループ)、ラスタデータ(画像)に付加した SXF 属性、ターゲットの確認・編集をおこないます。
SXF 属性-属性複写	要素、パック(作図グループ)、ラスタデータ(画像)に付加した SXF 属性を他の要素、パック(作図グループ)、ラスタデータ(画像)に複写します。
SXF 属性-属性一括	要素、パック(作図グループ)に SXF 属性を付加します。
[土木]メニューのコマンド	
座標-登録 (<input type="checkbox"/> 座標 - <input checked="" type="radio"/> 座標登録)	座標を抽出し、座標入力に座標を登録します。
座標-マークプロット (<input type="checkbox"/> 座標 - <input checked="" type="radio"/> マークプロット)	抽出座標の位置にマークをプロットします。
座標-座標値プロット (<input type="checkbox"/> 座標 - <input checked="" type="radio"/> 座標値配置)	座標値をプロットします。
平面線形-クローン (<input type="checkbox"/> 平面線形 - <input checked="" type="radio"/> クローン)	パラメータを指定してクローン曲線をクローン要素で入力します。
平面線形-幅員線 (<input type="checkbox"/> 平面線形 - <input checked="" type="radio"/> 幅員線)	幅員線を入力します。
旗上げ-平面図旗上げ (<input type="checkbox"/> 旗上げ - <input checked="" type="radio"/> 平面図旗上げ)	平面図旗上げを入力します。
旗上げ-縦断面図旗上げ (<input type="checkbox"/> 旗上げ - <input checked="" type="radio"/> 縦断面図旗上げ)	縦断面図旗上げを入力します。
ヘロン・三斜-範囲 (<input type="checkbox"/> ヘロン・三斜 - <input checked="" type="radio"/> 範囲)	範囲指定でヘロン・三斜図と面積表を入力します。
ヘロン・三斜-個別 (<input type="checkbox"/> ヘロン・三斜 - <input checked="" type="radio"/> 個別)	個別指定でヘロン・三斜図と面積表を入力します。
ヘロン・三斜-辺長 (<input type="checkbox"/> ヘロン・三斜 - <input checked="" type="radio"/> 辺長)	辺長指定でヘロン・三斜図と面積表を入力します。
ヘロン・三斜-自動 (<input type="checkbox"/> ヘロン・三斜 - <input checked="" type="radio"/> 自動)	三角形領域指定でヘロン・三斜図と面積表を入力します。

[土木]メニューのコマンド	
法面	上下線(法肩線、法尻線)を入力して法面記号を配置します。
法枠	法枠を配置します。
土工管理	土工管理をおこないます。
断面-簡易断面 (断面 - )	簡易断面図を作成します。
断面-距離標高・座標 (断面 - )	基準点の距離・標高を指定して、任意点の距離・標高を算出し距離標高表を作成します。距離標高表は表要素で作成します。
断面-標高値配置 (断面 - )	標高値、レベル記号を配置します。
断面-横断面図 (断面 - )	平面図のセンター・左右端点を指定して横断面図を作成します。
土量- 計算 (土量 - )	土量(数量)を計算し、土量計算表を作成します。
土量- 集計 (土量 - )	土量計算表を集計し帳票を作成します。
土量-土工区分線 (土量 - )	指定した領域に土工区分線を入力します。
面積計算 ()	面積を算出し、求積表を作成します。
車両軌跡 ()	車両軌跡を入力します。
等高線-標高配置	標高値を入力します。
等高線-標高訂正	自由曲線の標高を訂正します。
等高線-制御点編集	自由曲線の制御点を編集します。
等高線-範囲移動	基準の通過点・移動先を指定し、編集範囲に含まれる全ての通過点を移動することで、コンタ線(等高線)を編集します。
等高線-標高点による補正	標高点 2 点を指定して、標高点とコンタ線(等高線)の標高から通過点を移動し、標高点間のコンタ線と標高点付近のコンタ線(基準線の端を 10mm 延長したものと交差するコンタ線)の形状を編集します。
等高線-連続線変換	任意の数の連続線を指定し自由曲線を作成します。
等高線-自動作成	Z 座標を持つ CAD データに対して自動的にコンタ線を配置します。
工区割り ()	工区割りをします。
拡大図	拡大図を配置します。
表-配置 ()	表を表要素で入力します。
表-訂正 ()	表要素を訂正します。
表-表属性付加	表属性を付加します。
図枠・表題 ()	図枠・表題欄を配置します。
表題欄一括配置	表題欄を一括配置します。


























[土木]メニューのコマンド	
ハッチング入力 ()	ハッチングを入力します。
ハッチング中抜き	ハッチング要素の領域内を中抜きします。
シンボル配置 ( - <input checked="" type="radio"/> 配置)	基工事看板や標識などのシンボルを指定して図面上に配置します。
シンボル登録 ( - <input checked="" type="radio"/> 登録)	図形を選択してシンボルとして登録します。
方位マーク配置 ()	方位マークを指定して、図面上の任意の位置に配置します。
方位マーク登録	図形を選択して方位マークとして登録します。
特殊特殊図形 ( - <input checked="" type="radio"/> 特殊図形)	特殊図形を指定して、図面上の任意の位置に配置します。
特殊特殊線入力 ( - <input checked="" type="radio"/> 特殊線)	境界線、徒歩道、トンネル内の通路など特殊線を指定して、入力します。
特殊特殊線編集 ( - <input checked="" type="radio"/> 特殊線編集)	特殊線記号を訂正します。
パラメトリック配置 ()	パラメトリック図形を配置します。
パラメトリック登録	図形を選択して、パラメトリック登録します。
パラメトリック編集	図形を選択して、パラメトリック設定内容を変更します。
数量計算配置 ()	数量計算表を配置します。
数量計算編集	数量計算編集を起動して数量計算表のマスタを作成、編集します。
数量計算訂正 ()	数量計算表を訂正します。
朱書き雲形 ()	雲形(雲の形をした枠)を入力します。 固定レイヤ(朱書き)に入ります。
朱書き吹出し ()	吹出しを入力します。
朱書きフリーハンド ()	自由線を入力します。
朱書き文字列 ( - <input checked="" type="radio"/> 文字列)	文字を入力します。
朱書き複数行 ( - <input checked="" type="radio"/> 複数行)	文章を入力します。また、テキストファイルから文章を読み込んで入力することも可能です。
朱書き図形引出し ( - <input checked="" type="radio"/> 単一文字列)	指定した位置を枠で囲み、引出し文字を入力します。
朱書き図形引出し(複数行) ( - <input checked="" type="radio"/> 複数行)	指定した位置を枠で囲み、引出し文章を入力します。


















[土木]メニューのコマンド	
朱書き レ点 (<input type="checkbox"/> レ点 - <input checked="" type="checkbox"/> レ点)	レ点を入力します。
朱書き ×点 (<input type="checkbox"/> レ点 - <input checked="" type="checkbox"/> ×点)	×点を入力します。
チェック-寸法値チェック (<input type="checkbox"/> 寸法 チェック)	寸法線要素の寸法値と計測値をチェックします。
チェック-責任主体自動変更 (<input type="checkbox"/> 責任 主体)	変更のあったレイヤの責任主体を自動で変更します。
チェック-CAD製図基準チェック (<input type="checkbox"/> 基準 チェック)	図面をCAD製図基準に従ってチェックします。
レイヤ振分けアシスト	図面の要素をCAD製図基準に沿ったレイヤに振り分けます。
横断設計照査- 照査 (<input type="checkbox"/> 設計 照査 - <input checked="" type="checkbox"/> 設計照査)	CAD上の要素から断面の情報を取得し、値の訂正やチェックシートを配置することができます。
横断設計照査-照査(自動) (<input type="checkbox"/> 設計 照査 - <input checked="" type="checkbox"/> 設計照査[自動])	変更のあったレイヤの責任主体を自動で変更します。
[建設]メニューのコマンド	
下水道-管記号配置	マンホール・柵などの管記号を図面上に配置します。
下水道-管路配置	図面上に管路を配置します。
下水道-管記号変換	配置済みのプロットマークを管記号に変換します。
下水道-旗上げ	管記号・管路の管情報を旗上げします。
下水道-数量集計	記号・管路の管情報を集計し、数量表を作成して配置します。
[データ編集]メニューのコマンド	
移動- 移動 (<input type="checkbox"/> 移動 - <input checked="" type="checkbox"/> 移動)	データを移動します。
移動-移動回転 (<input type="checkbox"/> 移動 - <input checked="" type="checkbox"/> 移動回転)	データを移動・回転します。
削除 (<input type="checkbox"/> 削除)	データを削除します。
複写- 複写 (<input type="checkbox"/> 複写 - <input checked="" type="checkbox"/> 複写)	データを複写します。
複写-スタンプ (<input type="checkbox"/> 複写 - <input checked="" type="checkbox"/> スタンプ)	データをスタンプします。
複写-配列複写 (<input type="checkbox"/> 複写 - <input checked="" type="checkbox"/> 配列複写)	データを配列複写します。
訂正 (<input type="checkbox"/> 訂正)	データを訂正します。
一括訂正 (<input type="checkbox"/> 一括 訂正)	データを一括訂正します。
回転 (<input type="checkbox"/> 回転)	データを回転します。
鏡像 (<input type="checkbox"/> 鏡像)	データを鏡像移動(複写)します。
伸縮- 伸縮 (<input type="checkbox"/> 伸縮 - <input checked="" type="checkbox"/> 伸縮)	データを伸縮します。

[データ編集]メニューのコマンド	
伸縮—線伸縮 (<input type="checkbox"/> 伸縮 — <input checked="" type="checkbox"/> 線伸縮)	線を伸縮します。
伸縮—円弧伸縮 (<input type="checkbox"/> 伸縮 — <input checked="" type="checkbox"/> 円弧伸縮)	円弧の線を延長、または短縮します。
分解	要素を線や円要素などに分解します。
属性複写 (<input checked="" type="checkbox"/> 属性複写)	データの属性を複写します。
属性移動 (<input checked="" type="checkbox"/> 属性移動)	データが持つ属性を移動します。
属性取得 (<input checked="" type="checkbox"/> 属性取得)	データの属性をサンプリングし、[入力属性]ツールバーをサンプリングした属性に変更します。
延長止線—延長止線 (<input checked="" type="checkbox"/> 延長止線 — <input checked="" type="checkbox"/> 延長止線)	指定した線を他方で指定したライン上まで延長、または切断します。
延長止線— 整合 (<input checked="" type="checkbox"/> 延長止線 — <input checked="" type="checkbox"/> 整合)	要素の種類が同じデータを結合します。
面取り (<input checked="" type="checkbox"/> 面取)	2 直線を面取します。線分、連続線が対象です。
変化点編集—移動・挿入・削除 (<input checked="" type="checkbox"/> 変化点 — <input checked="" type="checkbox"/> 移動・挿入・削除)	変化点を編集します。 線分、連続線、自由曲線、上下線が対象です。
変化点編集—分割 (<input checked="" type="checkbox"/> 変化点 — <input checked="" type="checkbox"/> 分割)	データをハンドルで分割します。分割をおこなうと、分割点でそれぞれ独立した要素になります。連続線、自由曲線が対象です。
変化点編集—結合 (<input checked="" type="checkbox"/> 変化点 — <input checked="" type="checkbox"/> 結合)	要素の種類が同じデータを結合します。 線分、連続線、自由曲線が対象です。
カット—要素指定 (<input checked="" type="checkbox"/> カット — <input checked="" type="checkbox"/> 要素指定)	指定要素と他の要素の交点、あるいは、指定要素上の任意点でカットします。
カット—2点間削除 (<input checked="" type="checkbox"/> カット — <input checked="" type="checkbox"/> 2点間削除)	指定要素上の2点間をカットします。
カット—線間カット (<input checked="" type="checkbox"/> カット — <input checked="" type="checkbox"/> 線間カット)	分断する線間部分を指定して、他の要素データと交わる点で分断します。
カット—範囲指定 (<input checked="" type="checkbox"/> カット — <input checked="" type="checkbox"/> 範囲指定)	設定した対象の要素データの 1 部分を範囲指定し、その部分をカットします。
変形— 変形 (<input checked="" type="checkbox"/> 変形 — <input checked="" type="checkbox"/> 変形)	指定要素と他の要素の交点、あるいは、指定要素上の任意点で変形します。
変形—変形(寸法訂正) (<input checked="" type="checkbox"/> 変形 — <input checked="" type="checkbox"/> 変形(寸法訂正))	寸法値を指定して変形します。
文字編集—分解	文字列を 1 文字単位に分解します。
文字編集—連結	ばらばらの文字列を 1 つの文字列として連結します。
文字編集—整列	文字列を整列させます。
縮尺編集—縮尺編集 (<input checked="" type="checkbox"/> 縮尺 — <input checked="" type="checkbox"/> 縮尺編集)	縮尺を編集します。
縮尺編集—形状移動 (<input checked="" type="checkbox"/> 縮尺 — <input checked="" type="checkbox"/> 形状移動)	形状を移動して縮尺の原点、回転角を訂正します。

[データ編集]メニューのコマンド	
縮尺編集-2点指定 ( - )	図面上2点に対する現場座標値を設定し、縮尺値・原点・回転角を計算、あるいは図面上2点に対する距離を設定して、縮尺値を計算します。
パッカー 作成 ( - )	要素を選択し、それぞれの属性を保持しながら1つのデータとしてパッカー(作図グループ)します。
パッカー 解除 ( - )	パッカー(作図グループ)したデータを解除します。
パッカー 編集 ( - )	パッカー(作図グループ)したデータを編集します。
サーチ-重複線 ( - )	重複線を検索し、発見した重複線を1本化します。
サーチ-文字列置換 ( - )	文字を置換します。
クリーンアップ	不要なデータを削除します。
前面へ	データ順を1つ前面へ変更します。
背面へ	データ順を1つ背面へ変更します。
一括並べ替え	一括でデータ順の並べ替え、縮尺の変更をおこないます。
[ラスベク変換]メニューのコマンド	
一括変換-全体	ラスタデータ全体を、ベクトルデータに一括変換します。
一括変換-四角形	変換する領域を四角形で指定しベクトルデータに一括変換します。
一括変換-多角形	変換する領域を多角形で指定しベクトルデータに一括変換します。
一括変換-設定	ラスタデータをベクトルデータに一括変換する設定をおこないます。
自動トレース-自動追従	指定点から連続するラスタデータを、連続線に変換します。
自動トレース-閉合図形ベクトル化	指定した閉合領域を変換します。
自動トレース-輪郭ベクトル化	変換する領域を多角形で指定しベクトルデータに一括変換します。
自動トレース-コンタレース	指定した2点と交差するラスタデータを、標高を持った自由曲線に変換します。
自動トレース-設定	自動トレースで変換する設定をおこないます。
ラスタスナップ-ラスタスナップ	ベクトルデータの編集をおこないます。入力点を結ぶ線とその誤差範囲に全体が含まれる線を連続線に変換します。
ラスタスナップ-設定	ラスタスナップの設定をおこないます。
編集-線種復元	ベクトルデータの編集を行います。入力点を結ぶ線とその誤差範囲に全体が含まれる線を連続線に変換します。
[設定]メニューのコマンド	
基本設定 ()	基本項目(表示入力、描画順、ピック範囲、矢印の属性、やり直しの回数、新規ページ作成、データ入力時のフォーカス設定、要素指定時の縮尺取得など)を設定します。
システムカラー設定 ()	CAD画面の配色を設定します。

[設定]メニューのコマンド	
丸め設定 ()	図面上において、座標値を入力、または距離、面積、勾配、寸法などの値を表示するときの丸め、小数点以下の桁数、角度の表示方法などの設定をおこないます。
入力属性設定 ()	データを入力するときの属性を設定します。
用紙設定 ()	用紙種類、内枠サイズ、用紙オフセットなどを設定します。
表示モード-表示色:レイヤ ()	図面上のデータをレイヤ別に設定した色で表示します。
表示モード-表示色:ペン ()	図面上のデータをペン No 別に設定した色で表示します。
表示モード-表示色:線種 ()	図面上のデータを線種別に設定した色で表示します。
表示モード-表示色:縮尺 ()	図面上のデータを縮尺別に設定した色で表示します。
表示モード-表示色:カラー ()	図面上のデータを属性のカラーで設定した色で表示します。
表示モード-文字表示 ()	図面上の文字列を内容表示するか、文字列枠のみで表示するかを切り替えます。
表示モード-カーソル情報表示 ()	データを確定する前に表示されるカーソル内の詳細表示、非表示を切り替えます。
表示モード-グリッド表示 ()	グリッドの表示、非表示を切り替えます。
表示モード-線の変化点を表示 ()	線の変化点をハイライト表示するか、しないかを切り替えます。
表示モード- 非検索データをバック表示 ()	レイヤ設定で「非検索:[検索]セルを空欄」に設定しているレイヤ内のデータを、システムカラー色:編集対象外の色で表示するかを切り替えます。
表示モード-自動ハイライト表示 ()	自動ハイライト表示のオン・オフを切り替えます。
表示モード-簡易プロパティ表示 ()	簡易プロパティの表示・非表示を切り替えます。
表示モード- エリアコントロール表示 ()	SXF 既定義ハッチング:Area_Control が入力されている領域の網掛け表示、非表示を切り替えます。
表示モード- モノクロラスタをグレースケール化 ()	モノクロ(白黒の2値)のラスタデータをグレースケールで表示する、しないを切り替えます。
表示モード-カラーラスタを透過 ()	カラーラスタデータを透過表示するか、しないかを切り替えます。
入力モード-ドラフタ ()	ドラフタ機能を有効にするか、しないを切り替えます。
入力モード-座標補正 Δxy ()	データの編集時の入力位置や基準位置を指定するとき、マウスでクリックした位置からの縦、横の移動量を入力して入力点、基準点の位置を設定する機能のオン、オフを切り替えます。
入力モード-絶対座標入力 ()	データを入力する際に、用紙座標の原点(0,0)または[入力属性設定]コマンドで設定した縮尺(現場座標)の座標原点からの絶対座標値を指定して入力します。
入力モード-XY入力 ()	図面上で2点目以降のデータを入力するとき、次点の入力位置を前回の入力点からのX方向の距離・Y方向の距離を指定して入力します。
入力モード-距離・角度入力 ()	図面上で2点目以降のデータを入力するときなど、次点の入力位置を前回の入力点からの距離と方向角を入力して指定します。

[設定]メニューのコマンド	
入力モード-距離・勾配入力 ()	図面上で2点目以降のデータを入力するときなどに次点の入力位置を前回の入力点からの距離と勾配を入力して指定します。
入力モード-測量系 ()	データ入力時の座標を測量座標系に設定します。
入力モード-数学系 ()	データ入力時の座標を数学座標系に設定します。
選択モード-パック指定 ()	図面上のデータを選択する際、選択対象データをパック(作図グループ)単位にするか、しないかを切り替えます。
選択モード-ポイント ()	マウスでクリックした点のデータを選択します。
選択モード-クロス ()	2点間上に交差するデータを選択します。
選択モード-四角形イン ()	2点指定四角形内のデータを選択します。
選択モード-四角形タッチ ()	2点指定四角形上に交差するデータ、または四角形内に囲まれているデータを選択します。
選択モード-多角形イン ()	N点指定多角形内のデータを選択します。
選択モード-多角形タッチ ()	N点指定多角形上に交差するデータ、または多角形内に囲まれているデータを選択します。
選択モード-フリーハンド ()	マウスで描いた軌跡上に交差するデータを選択します。
選択モード-全選択 ()	要素別に全てのデータを選択します。
選択モード-属性選択 ()	属性別の階層毎にデータを選択します。
選択モード-選択移動 ()	選択移動の場合、選択したデータにはハンドルが表示され、データの移動、複写ができます。
ピックモード-マーク ()	入力位置または基準位置を、マウスでクリックした位置に1番近いプロットマークの中心点にします。
ピックモード-交点 ()	入力位置または基準位置を、マウスでクリックした位置に1番近い交点にします。
ピックモード-端点 ()	入力位置または基準位置を、マウスでクリックした位置に1番近い端点にします。
ピックモード-グリッド ()	入力位置または基準位置を、マウスでクリックした位置に1番近いグリッドの交点にします。
ピックモード-フリー ()	入力位置または基準位置を、マウスでクリックした位置にします。
ピックモード-4半円点 ()	入力位置または基準位置を、マウスでクリックした円・円弧の4半円点(0度・90度・180度・270度・360度)にします。
ピックモード-ラスタ ()	ラスタデータのピックモードを有効にします。ラスタデータは、モノクロ(白黒の2値)のラスタデータが対象です。 ピックモードの設定は[ラスタピック設定]で設定します。
ピックモード-線上 ()	入力位置または基準位置を、マウスでクリックした位置に1番近い線上にします。
ピックモード-中点 ()	入力位置または基準位置を、マウスでクリックした位置に1番近い線の中点にします。
ピックモード-中心点 ()	入力位置または基準位置を、マウスでクリックした位置に1番近い円(円弧)、または楕円(楕円弧)の中心点にします。
ピックモード-ダイナミックピック ()	マウスポインタにピックすることができる点のイメージを表示するか、しないかを切り替えます。

[設定]メニューのコマンド	
ピックモード-音声ガイド ()	入力位置や基準位置をマウスで指定したときに、ピックモード名を音声にしてくれるモードで、そのオン、オフを切り替えます。
ピックモード-ラスタピック設定 ()	ラスタデータのピックモードを設定します。
グリッド設定 ()	図面全体に表示するグリッドの間隔や角度などを設定します。
ドラフタ設定 ()	ドラフタ角度を設定します。この設定は、ドラフタ機能がオンになっているときのみ有効です。ドラフタ角度は常に用紙座標系上のX軸を基準にして機能します。
カラーパレット設定 ()	カラーパレットを設定します。カラーパレットは、レイヤ・縮尺・ペン・線種のデータ表示色、要素のカラーとして使用します。
レイヤ設定 ()	レイヤを設定します。
縮尺追加 ()	縮尺を追加します。
縮尺設定 ()	縮尺を設定します。
ペン設定 ()	ペンを設定します。
線種設定 ()	線種を設定します。
形状表示 ()	属性別の各階層毎に形状表示します。
ポップアップカスタマイズ	右クリックで表示されるポップアップメニューをカスタマイズします。
キーカスタマイズ	キーボードによるショートカットキーをカスタマイズします。
コマンドバーカスタマイズ	コマンドバーをカスタマイズします。
[3D]メニューのコマンド	
データ管理	3D データの複写・削除・名称変更、あるいは既存データを開きます。
CAD	Z 座標をもつ CAD データから 3D データを作成します。
CAD[要素指定]	Z 座標をもつ CAD 要素を指定して、3D データを作成します。
LandXML	LandXML ファイルを読み込んで、TIN データから 3D データを作成します。
DXF/DWG	DXF/DWG ファイルを読み込んで、3D-Face の情報から 3D データを作成します。
Z 値編集-一点指定	選択した複数要素に対して、Z 座標値をまとめて設定します。
Z 値編集-要素指定	Z 座標をもつ CAD 要素を指定して、3D データを作成します。
[ツール]メニューのコマンド	
オプション	全体的な設定をおこないます。
計測-2 点間の距離方向 ()	指定した 2 点間の距離および方向角を表示します。
計測-一点と線の距離方向角 ()	任意の点と直線を指定して、その間におろせる垂線の距離および方向角を表示します。
計測-2 線間距離 ()	平行な 2 線間の距離を表示します。
計測-連続距離 ()	図面上で連続的に点を指定していき、その総距離を表示します。
計測-3 点内角 ()	点を指定して、内角 (1点目から2点目の進行方向に対して右廻りの角度) を表示します。
計測-3 点垂直 ()	指定した2点と任意の点との距離を表示します。

[ツール]メニューのコマンド	
計測-斜距離 ()	任意の2点を指定し、2点の標高を入力して斜距離を表示します。
計測-斜面積 ()	図面上の任意の3点を指定し、指定した3点の標高を入力して斜面積を表示します。
計測-面積 ()	面積を計測して表示します。
計測-要素長 ()	線、円弧、自由曲線、クロソイド要素の要素長を表示します。
計測-座標デジタイズ ()	任意の点を指定して、用紙座標上のX、Y座標値、現場座標上のX、Y、Z座標値を表示します。
ピック補助-延長交点 ()	2要素の延長交点上にピック補助点を作成します。
ピック補助-2点の midpoint ()	2点の midpoint にピック補助点を作成します。
ピック補助-端点距離 ()	要素端点の延長上にピック補助点を作成します。
ピック補助-任意点距離 ()	要素のオフセット点にピック補助点を作成します。
交点計算-4点交点 ()	4点指定で2直線の交点を算出します。
交点計算-直線と円 ()	直線(円)と円の交点を算出します。
交点計算-2円の交点 ()	2円の交点を算出します。
交点計算-線の延長点 ()	線の延長点を算出します。
交点計算-内分点外分点 ()	直線の内分点または外分点を算出します。
交点計算-平行移動点 ()	2点を平行移動した点を算出します。
交点計算-連続平行移動点 ()	連続線の通過点を平行移動した点を算出します。
交点計算-3点垂直 ()	直線(円)に、指定点より垂直に下ろした点を算出します。
交点計算-オフセット ()	直線からのオフセット点を算出します。
交点計算-1点1方向 ()	1点からの距離と方向点を指定して点を算出します。
交点計算-隅切計算 ()	3点指定した角の隅切点を算出します。
データ量の状態	各要素別に図面上に存在するデータ数、選択データ数、割合グラフを表示します。
表示-ツールバー	ツールバーの表示、非表示、各ツールバーのアイコンを設定します。
表示-メッセージバー	メッセージバーを変更します。
表示-ページタブバー	ページタブバーの表示、非表示を切り替えます。
表示-ステータスバー	アプリケーションウィンドウの下方に、各種情報を表示するステータスバーの表示、非表示を切り替えます。
表示-ガイドバー	CAD画面左側に表示するガイドバーの表示、非表示を切り替えます。
製図基準テンプレートカスタマイズ	CAD製図基準テンプレートをカスタマイズします。16色既定義のテンプレートになります。19色既定義のテンプレートは作成できません。
表題欄・製図基準テンプレート取込	ファイルを指定して、表題欄やCAD製図基準テンプレートを取り込みます。取り込んだ表題欄は、表題欄の[対応基準]で利用可能です。取り込んだCAD製図基準テンプレートは、製図基準テンプレートの[製図基準]で「カスタムテンプレート」を選択して利用可能です。

[ヘルプ]メニューのコマンド	
ヘルプ	ヘルプを表示します。
クリック個所の機能解説表示	コマンドをクリックするとマウスポインタがヘルプポインタに変わります。このヘルプポインタでコマンド(メニュー、ツールバーのアイコン)をクリックすると、クリック個所のヘルプ解説を見ることができます。
武蔵.TV	「武蔵.TV」を利用します。 「武蔵.TV」は、成果品作成に使用できる様々なデータを無料ダウンロードできる総合コンテンツ提供サイトです。
FC コンシェルジュ	「FCコンシェルジュ」を利用します。「FCコンシェルジュ」は、製品情報や各地のイベント・セミナー情報、サポート情報やサポートコンテンツなどを、各ユーザー様専用の内容で提供する機能です。
リモートサポート	「リモートサポート」を利用します。「リモートサポート」は、電話だけでは解決が困難な場合、インターネットでお客様のパソコンと弊社サポートセンターを接続し、お客様の画面上で弊社のオペレーターが直接操作説明をおこないます。
総合サポートサイト	福井コンピュータスマート株式会社では、各種サポートコンテンツを一元的に集約し、お客様へご提供することを目的としたサポート専用サイトとして、お客様総合サポートサイト「スマート オンライン サービス」(Smart Online Service)を公開しています。
バージョン情報	プログラムのバージョン情報、ユーザーID、システムの情報を確認します。

2-2 座標入力のメニューバーのコマンド

座標入力のメニューバーのコマンドを紹介します。

[座標入力]メニューのコマンド	
表示項目	ステージ画面の表示項目を切り替えます。
計算設定	丸めを設定します。
上位桁	座標を登録する場合の座標値の不変値を設定します。
電子野帳取込	電子野帳から座標データを取込みます。
電子野帳送付	編集中の座標入力の座標データを電子野帳に送付します。
SIMA 取込	SIMA データから座標を取り込みます。
SIMA 書込	SIMA データに変換します。
SIMA (JPGIS) 取込	SIMA (JPGIS) データから座標を取り込みます。
SIMA (JPGIS) 書込	SIMA (JPGIS) データに変換します。
CSV 取込	CSV 形式のデータから座標を取り込みます。
CSV 書込	座標を CSV 形式のデータに書き出します。
検索	座標を点名で検索します。
座標変換	座標変換をおこないます。※「[座標変換]実行後の[座標変換]メニューのコマンド」(P.20)参照
帳票作成	帳票を作成します。
座標元に戻す	座標に対しておこなった編集作業を元の状態に戻します。

[座標入力]メニューのコマンド	
座標やり直し	[座標元に戻す]で実行した内容を取り消します。
閉じる	座標入力を終了します。
[座標変換]実行後の[座標変換]メニューのコマンド	
計算設定	丸めを設定します。
CAD 四角形入力	プロット画面より四角形指定で座標を抽出します。
CAD 多角形入力	プロット画面より多角形指定で座標を抽出します。
抽出	開始点番などを指定して座標を抽出します。
帳票作成	帳票を作成します。
座標登録	座標変換による変換座標を、座標入力に登録します。
座標入力に戻る	座標入力に戻ります。

2-3 座標プロットのメニューバーのコマンド

座標プロットのメニューバーのコマンドを紹介します。

[座標プロット]メニューのコマンド	
表示項目	ステージ画面の表示項目を切り替えます。
計算設定	丸めを設定します。
CAD 四角形入力	プロット画面より四角形指定で座標を抽出します。
CAD 多角形入力	プロット画面より多角形指定で座標を抽出します。
抽出	開始点番などを指定して座標を抽出します。
帳票作成	帳票を作成します。
形状図配置	形状図を作成・配置します。
表配置	表を配置します。 配置後は、測量計算を終了し CAD 画面での編集状態になります。
編集を取り消す	座標プロットの編集を取り消して終了します。
更新して閉じる	座標プロットのデータを更新して終了します。

2-4 トラバース計算のメニューバーのコマンド

トラバース計算のメニューバーのコマンドを紹介します。

[トラバース計算]メニューのコマンド	
計算設定	丸めを設定します。
野帳データ	野帳データを入力します。※「[野帳データ]実行後の[トラバース計算]メニューのコマンド」(P.21)参照
初期設定	トラバース計算方法などの初期設定をおこないます。
表示項目	表示項目を切り替えます。

[トラバース計算]メニューのコマンド	
帳票作成	帳票を作成します。
座標登録	トラバース計算で算出した視準点を、座標入力に登録します。
形状図配置	形状図を作成・配置します。
編集を取り消す	トラバース計算の編集を取り消して終了します。
更新して閉じる	トラバース計算のデータを更新して終了します。
[野帳データ]実行後の[トラバース計算]メニューのコマンド	
計算設定	丸めを設定します。
表示項目	表示項目を切り替えます。
電子野帳取込	電子野帳データを取り込み手簿計算をおこなって、[野帳]ステージに適用します。
ポケット取込	TREND POCKET の電子野帳観測データ(*.pro)を取り込み、手簿計算をおこなって[野帳]ステージに適用します。
TREND-FIELD/XYCLONE 取込	弊社の現場端末システム TREND-FIELD、XYCLONE で出力した連携ファイル(.MCF)を開いて、TREND-FIELD、XYCLONE の現況(対回)観測データを取り込み、[野帳]ステージに適用します。
帳票作成	帳票を作成します。
観測データ	観測データを入力します。 ※「[トラバース計算]メニューのコマンド」(P.20)参照
編集を取り消す	トラバース計算の編集を取り消して終了します。
更新して閉じる	トラバース計算のデータを更新して終了します。

2-5 杭打ち計算のメニューバーのコマンド

杭打ち計算のメニューバーのコマンドを紹介します。

[杭打ち計算]メニューのコマンド	
表示項目	ステージ画面の表示項目を切り替えます。
計算設定	丸めを設定します。
CAD 四角形入力	プロット画面より四角形指定で座標を抽出します。
CAD 多角形入力	プロット画面より多角形指定で座標を抽出します。
距離入力	器械点から指定距離内の座標を抽出します。
並び替え	視準点を並び替えます。
帳票作成	帳票を作成します。
形状図配置	形状図を作成・配置します。
表配置	表を配置します。 配置後は、測量計算を終了し CAD 画面での編集状態になります。
編集を取り消す	杭打ち計算の編集を取り消して終了します。
更新して閉じる	杭打ち計算のデータを更新して終了します。

2-6 線形計算のメニューバーのコマンド

線形計算のメニューバーのコマンドを紹介します。

[線形計算]メニューのコマンド	
計算設定	丸めを設定します。
計算条件-測点スタイル	測点スタイルを設定します。
計算条件-路線計算条件	路線計算条件を設定します。
計算条件-巾杭計算条件	巾杭計算条件を設定します。
線形入力	線形を入力します。※「[線形入力]実行後の[線形計算]メニューのコマンド」(P.22)参照
センター表示	センター点を確認・訂正します。※「[センター表示]実行後の[線形計算]メニューのコマンド」(P.22)参照
巾杭計算	巾杭を入力します。※「[巾杭計算]実行後の[線形計算]メニューのコマンド」(P.23)参照
幅員計算	幅員データを入力します。※「[幅員計算]実行後の[線形計算]メニューのコマンド」(P.23)参照
編集を取り消す	線形計算の編集を取り消して終了します。
更新して閉じる	線形計算のデータを更新して終了します。
[線形入力]実行後の[線形計算]メニューのコマンド	
IP 点番点名付け直し	[IP 点番][IP 点名]を自動で一括入力します。
SIMA 読み込み	路線 SIMA 形式のアスキーファイルを、線形計算のデータとして読み込みます。
SIMA 書き込み	線形計算で作成した路線データを、SIMA データに変換して書き込みます。
計算条件	計算条件を設定します。
センター表示	センター点を確認・訂正します。※「[センター表示]実行後の[線形計算]メニューのコマンド」(P.22)参照
巾杭計算	巾杭を入力します。※「[巾杭計算]実行後の[線形計算]メニューのコマンド」(P.23)参照
幅員計算	幅員データを入力します。※「[幅員計算]実行後の[線形計算]メニューのコマンド」(P.23)参照
編集を取り消す	線形計算の編集を取り消して終了します。
更新して閉じる	線形計算のデータを更新して終了します。
[センター表示]実行後の[線形計算]メニューのコマンド	
データ入力-プラス杭	プラス杭を入力します。
データ入力-ブレーキ点	ブレーキ点を入力します。
データ入力-垂線の足	垂線の足を入力します。
データ入力-センター標高	センター点を対象に縦断計画を入力してセンター標高を算出します。
再計算	再計算をおこないます。

[センター表示]実行後の[線形計算]メニューのコマンド	
座標登録	センター点・巾杭点を座標入力に登録します。
帳票作成	帳票を作成します。
図面作成-形状図配置	形状図を配置します。
図面作成-表配置	表を配置します。 作成後は、測量計算を終了し CAD 画面での編集状態になります。
計算条件	計算条件を設定します。
線形入力	線形を入力します。※「[線形入力]実行後の[線形計算]メニューのコマンド」(P.22)参照
巾杭計算	巾杭を入力します。※「[巾杭計算]実行後の[線形計算]メニューのコマンド」(P.23)参照
幅員計算	幅員データを入力します。※「[幅員計算]実行後の[線形計算]メニューのコマンド」(P.23)参照
編集を取り消す	線形計算の編集を取り消して終了します。
更新して閉じる	線形計算のデータを更新して終了します。
[巾杭計算]実行後の[線形計算]メニューのコマンド	
表示項目	ステージ画面の表示項目を切り替えます。
入力方法-測点指定	測点指定で巾杭を入力します。
入力方法-センター取込	センター点の[点名][杭 No][+距離][追加距離]を[巾杭計算]ステージに取り込みます。取込は常に追加取込になります。
座標登録	センター点・巾杭点を座標入力に登録します。
帳票作成	帳票を作成します。
図面作成-形状図配置	形状図を配置します。
図面作成-表配置	表を配置します。 作成後は、測量計算を終了し CAD 画面での編集状態になります。
計算条件	計算条件を設定します。
線形入力	線形を入力します。※「[線形入力]実行後の[線形計算]メニューのコマンド」(P.22)参照
センター表示	センター点を確認・訂正します。※「[センター表示]実行後の[線形計算]メニューのコマンド」(P.22)参照
幅員計算	幅員データを入力します。※「[幅員計算]実行後の[線形計算]メニューのコマンド」(P.23)参照
編集を取り消す	線形計算の編集を取り消して終了します。
更新して閉じる	線形計算のデータを更新して終了します。
[幅員計算]実行後の[線形計算]メニューのコマンド	
データ入力-片勾配入力	片勾配を入力します。
データ入力-拡幅入力	拡幅を入力します。
帳票作成	帳票を作成します。
計算条件	計算条件を設定します。

[幅員計算]実行後の[線形計算]メニューのコマンド

線形入力	線形を入力します。※「[線形入力]実行後の[線形計算]メニューのコマンド」(P.22)参照
センター表示	センター点を確認・訂正します。※「[センター表示]実行後の[線形計算]メニューのコマンド」(P.22)参照
巾杭計算	巾杭を入力します。※「[巾杭計算]実行後の[線形計算]メニューのコマンド」(P.23)参照
編集を取り消す	線形計算の編集を取り消して終了します。
更新して閉じる	線形計算のデータを更新して終了します。

2-7 縦断線形のメニューバーのコマンド

縦断線形のメニューバーのコマンドを紹介します。

[縦断線形]メニューのコマンド

表示項目	ステージ画面の表示項目を切り替えます。
データ入力-測点自動	測点を自動作成します。
データ入力-水準入力	水準データを入力します。
取り込み-線形データ	線形計算で作成した線形計算データから[測点名][追加距離]を取り込みます。
取り込み-SIMA	路線計算条件を設定します。
取り込み-CAD 数値化	CADデータを数値化し[単距離][追加距離][地盤高]を算出します。
書き出し-SIMA	SIMA データに変換します。
帳票作成	帳票を作成します。
形状図配置	形状図を配置します。
計算設定	丸めを設定します。
計画	計画データを入力します。 ※「[計画]実行後の[縦断線形]メニューのコマンド」(P.24)参照
曲線	曲線データを入力します。 ※「[曲線]実行後の[縦断線形]メニューのコマンド」(P.25)参照
編集を取り消す	縦断線形の編集を取り消して終了します。
更新して閉じる	縦断線形のデータを更新して終了します。

[計画]実行後の[縦断線形]メニューのコマンド

取り込み-線形データ	線形計算で作成した線形計算データから[測点名][追加距離]を取り込みます。
一括計画-シフト	入力済みの計画からシフト量分だけ計画高を平行移動して、別の計画にセットします。
帳票作成	帳票を作成します。
形状図配置	形状図を配置します。
計算設定	丸めを設定します。

[計画]実行後の[縦断線形]メニューのコマンド	
現地盤	現地盤データを入力します。 ※「[縦断線形]メニューのコマンド」(P.24)参照
曲線	曲線データを入力します。 ※「[曲線]実行後の[縦断線形]メニューのコマンド」(P.25)参照
編集を取り消す	縦断線形の編集を取り消して終了します。
更新して閉じる	縦断線形のデータを更新して終了します。
[曲線]実行後の[縦断線形]メニューのコマンド	
データ入力-曲線要素	曲線要素を入力します。
データ入力-片勾配	片勾配を入力します。
データ入力-拡幅	拡幅を入力します。
帳票作成	帳票を作成します。
計算設定	丸めを設定します。
現地盤	現地盤データを入力します。 ※「[縦断線形]メニューのコマンド」(P.24)参照
計画	計画データを入力します。 ※「[計画]実行後の[縦断線形]メニューのコマンド」(P.24)参照
編集を取り消す	縦断線形の編集を取り消して終了します。
更新して閉じる	縦断線形のデータを更新して終了します。

2-8 横断丁張のメニューバーのコマンド

横断丁張のメニューバーのコマンドを紹介します。

[横断丁張]メニューのコマンド	
計算設定	丸めを設定します。
線形データ読み込み	線形計算で作成した線形計算データを取り込みます。
縦断データ読み込み	縦断線形で作成した縦断線形データを取り込みます。
CAD 数値化	CAD データを数値化し現地盤の[距離][地盤高]、計画の断面形状のデータを算出します。
現地盤	現地盤データを入力します。 ※「[現地盤]実行後の[横断丁張]メニューのコマンド」(P.26)参照
計画	計画データを入力します。 ※「[計画]実行後の[横断丁張]メニューのコマンド」(P.26)参照
丁張計算	丁張計算データを入力します。※「[丁張計算]実行後の[横断丁張]メニューのコマンド」(P.27)参照
編集を取り消す	横断丁張の編集を取り消して終了します。
更新して閉じる	横断丁張のデータを更新して終了します。

[現地盤]実行後の[横断丁張]メニューのコマンド	
表示項目	ステージ画面の表示項目を切り替えます。
SIMA 読み込み	SIMA データを取り込みます。
SIMA 書き込み	SIMA データを書き込みます。
TREND-FIELD 読み込み	TREND-FIELD データを取り込みます。
センター地層線	センター地層線の深さを設定します。
並べ替え	断面の左右に関して測点を距離の短い方から順番に並べ替えをおこないます。
副断面設定	副断面を設定します。
水準入力	水準データを入力します。
座標から作成	線形計算のデータから現地盤データを作成します。
帳票作成	帳票を作成します。
形状図配置	形状図を配置します。
計算設定	丸めを設定します。
断面設定	断面条件を入力します。
計画	計画データを入力します。 ※「[計画]実行後の[横断丁張]メニューのコマンド」(P.26) 参照
丁張計算	丁張計算データを入力します。※「[丁張計算]実行後の[横断丁張]メニューのコマンド」(P.27) 参照
編集を取り消す	横断丁張の編集を取り消して終了します。
更新して閉じる	横断丁張のデータを更新して終了します。
[計画]実行後の[横断丁張]メニューのコマンド	
法面部設定	法面部を設定します。各断面ごとに設定が可能です。
計画一括訂正	計画データを一括訂正します。
変化点情報	変化点を確認します。
舗装一点指定	1点指定で計画線を指定して舗装データを入力します。
舗装範囲指定	四角形指定で計画線を指定して舗装データを入力します。
舗装一括指定	断面を指定して舗装データを一括入力します。
構造物配置	構造物を入力します。
構造物訂正(点)	1点指定で構造物を訂正します。
構造物訂正(範囲)	四角形指定で構造物を訂正します。
構造物削除(点)	1点指定で構造物を削除します。
構造物削除(範囲)	四角形指定で構造物を削除します。
寸法入力(点)	1点指定で横断寸法線を入力します。

[計画]実行後の[横断丁張]メニューのコマンド	
寸法-入力(範囲)	四角形指定で横断寸法線を入力します。
勾配	計画点間の勾配値と法長を表示します。
寸法-削除(点)	1点指定で法線を削除します。
寸法-削除(範囲)	四角形指定で法線を削除します。
標準断面-読み込み	標準断面を取り込みます。
標準断面-書き込み	編集中の計画断面を標準断面として登録します。
座標登録	計画点・丁張算出点を座標入力に登録します。
帳票作成	帳票を作成します。
形状図配置	形状図を作成・配置します。
TS出来形断面設定	管理断面の出来形管理箇所の設定、横断構成点の構成要素の設定などをおこないます。
計算設定	丸めを設定します。
断面設定	断面条件を入力します。
現地盤	現地盤データを入力します。 ※「[現地盤]実行後の[横断丁張]メニューのコマンド」(P.26)参照
丁張計算	丁張計算データを入力します。※「[丁張計算]実行後の[横断丁張]メニューのコマンド」(P.27)参照
編集を取り消す	横断丁張の編集を取り消して終了します。
更新して閉じる	横断丁張のデータを更新して終了します。
[丁張計算]実行後の[横断丁張]メニューのコマンド	
算出点指定	丁張算出点を設定します。
算出点削除	丁張算出点を削除します。
座標登録	計画点・丁張算出点を、座標入力に登録します。
帳票作成	帳票を作成します。
計算設定	丸めを設定します。
断面設定	断面条件を入力します。
現地盤	現地盤データを入力します。 ※「[現地盤]実行後の[横断丁張]メニューのコマンド」(P.26)参照
計画	計画データを入力します。 ※「[計画]実行後の[横断丁張]メニューのコマンド」(P.26)参照
編集を取り消す	横断丁張の編集を取り消して終了します。
更新して閉じる	横断丁張のデータを更新して終了します。

2-9 舗装展開図のメニューバーのコマンド

舗装展開図のメニューバーのコマンドを紹介します。

[舗装展開図]メニューのコマンド	
計算設定	丸めを設定します。
設定-表示項目	ステージ画面の表示項目を切り替えます。
設定-入力条件	入力条件を設定します。
データ入力-測点自動作成	測点を自動作成します。
データ入力-舗装出来形管理データ読込	舗装出来形管理で出力した CSV ファイルから、舗装出来形管理データの[層の名前][測点名][左右片幅][全幅][延長]の実測値・設計値を取り込みます。
帳票作成	帳票を作成します。
図面作成-形状図配置	図面を作成します。 作成後は、測量計算を終了し CAD 画面での編集状態になります。
図面作成-表配置	表を配置します。
混合	混合データを入力します。
控除	控除データを入力します。入力した構造物の面積が控除されます。 控除する構造物がない場合には入力する必要はありません。
編集を取り消す	舗装展開図の編集を取り消して終了します。
更新して閉じる	舗装展開図のデータを更新して終了します。

2-10 擁壁展開図のメニューバーのコマンド

擁壁展開図のメニューバーのコマンドを紹介します。

[擁壁展開図]メニューのコマンド	
計算設定	丸めを設定します。
入力条件	入力条件を設定します。
データ入力-測点自動作成	測点を自動作成します。
帳票作成	帳票を作成します。
図面作成-形状図配置	図面を作成します。 作成後は、測量計算を終了し CAD 画面での編集状態になります。
図面作成-表配置	表を配置します。
控除	控除データを入力します。入力した構造物の面積が控除されます。 控除する構造物がない場合には入力する必要はありません。
編集を取り消す	擁壁展開図の編集を取り消して終了します。
更新して閉じる	擁壁展開図のデータを更新して終了します。

2-11 法面展開図のメニューバーのコマンド

法面展開図のメニューバーのコマンドを紹介します。

[法面展開図]メニューのコマンド	
計算設定	丸めを設定します。
作成方法	展開図の作成方法を指定します。
データ入力-座標抽出	座標入力より座標を抽出します。
三斜-自動三斜	三斜を自動で作成します。
三斜-範囲三斜	範囲を指定して、三斜を入力します。
三斜-三斜線変更	三斜線を変更します。 三斜線を変更は、2つの隣接している三斜の区切り線を、残りの2つの構成点同士が結ばれるような区切り線にします。
三辺	三辺データを入力します。 構成点については、プロット画面で測点をクリックして抽出することも可能です。
配置	分割位置を指定してデータを分割します。
控除	控除データを入力します。入力した構造物の面積が控除されます。 控除する構造物がない場合には入力する必要はありません。
編集を取り消す	法面展開図の編集を取り消して終了します。
更新して閉じる	法面展開図のデータを更新して終了します。

2-12 3次元設計データ作成のメニューバーのコマンド

3次元設計データ作成のメニューバーのコマンドを紹介します。

[3次元設計データ作成]メニューのコマンド	
基本設定	基本条件を設定します。
計算設定	丸めを設定します。
共通設定	設計情報・座標系・基準点などを設定します。
線形切替	作業する線形データを切り替えます。
計画層変更	建設CAD以外で作成したXMLを読み込んだ場合など、複数の構築形状(計画)がある場合に作業する計画層を切り替えます。
自動作成	CADデータ、または既存の作業データから、平面・縦断・横断データを自動作成します。
POINT連携-自動連携	TREND-POINTと自動連携します。
POINT連携-現地盤取込	TREND-POINTに問い合わせを行い、取得済みの現況を横断SIMAで取得します。
POINT連携-計画面出力	計画面をLandXMLとしてTREND-POINTへ送信します。
平面	平面のデータを入力します。
縦断	縦断のデータを入力します。

[3次元設計データ作成]メニューのコマンド	
横断	横断のデータを入力します。
構成要素	横断の構成点の属性を設定します。
工種設定	工種を設定します。
出来形設定	出来形管理箇所を設定します。
接続設定	接続を設定します。
読み込み-線形 XML	基本設計データ(*.XML)、または道路中心線形データ(*.XML)を読み込みます。
読み込み-LandXML	LandXML データ(*.XML)を読み込みます。
読み込み-切削データ	切削オーバーレイの作業データ(武蔵 2012 以降)を読み込みます。
書き込み-基本設計	平面、縦断、横断のデータを元に、道路中心線形(平面線形、縦断線形)、横断面形状の情報を取得し、計測対象点の情報などを付加した基本設計データを出力します。
書き込み-道路中心線形	平面、縦断、横断のデータを元に、道路中心線形(平面線形、縦断線形)の情報を取得し、プロジェクト情報などを付加した道路中心線形データを出力します。
書き込み-LandXML	平面、縦断、横断のデータを、LandXML データに変換します。
書き込み-Google Earth	3D モニタの形状を Google Earth 上に表示できるファイル(*.kmz)に出力します。
書き込み-その他形式	3D モニタの形状を、その他の形式データ(*.DXF)に変換します。
線形変換	3次元設計データ作成のデータを線形計算、縦断線形、横断丁張、舗装展開図の各測量計算データに変換します。
計測点を座標登録	本設計データ(*.XML)を読み込んだ時など、現在の線形に計測した点が存在する場合は、計測点の座標を座標入力に登録します。
編集を取り消す	3次元設計データ作成の編集を取り消して終了します。
更新して閉じる	3次元設計データ作成のデータを更新して終了します。
[平面]メニューのコマンド	
計算条件-測点スタイル	測点スタイルを設定します。
計算条件-路線計算条件	路線計算条件を設定します。
線形入力	線形を入力します。
センター表示	センター点を確認・訂正します。
編集を取り消す	平面データの編集を取り消して終了します。
更新して閉じる	平面データを更新して終了します。
[縦断]メニューのコマンド	
数値チェック-表配置	CAD 縦断図に、発注図面上の数値と受注者による入力、計算値を比較するチェックリスト(求積表)を配置します。
片勾配・拡幅	片勾配・拡幅データを入力します。
編集を取り消す	縦断データの編集を取り消して終了します。
更新して閉じる	縦断データを更新して終了します。

[横断]メニューのコマンド	
CAD 数値化	CAD データを数値化し現地盤の[距離][地盤高]、計画の断面形状のデータを算出します。
現地盤	現地盤データを入力します。
計画	計画データを入力します。
編集を取り消す	横断データの編集を取り消して終了します。
更新して閉じる	横断データを更新して終了します。
[構成要素]メニューのコマンド	
一括設定-全項目	基準となる断面と条件を指定して、構成要素を一括設定します。
一括設定-構成要素	条件を指定して、構成要素を一括設定します。
道路面	横断の構成点の道路面を設定します。
法面	横断の構成点の法面を設定します。
小段	横断の構成点の小段を設定します。
その他	横断の構成点のその他を設定します。
編集を取り消す	構成要素データの編集を取り消して終了します。
更新して閉じる	構成要素データを更新して終了します。
[工種設定]メニューのコマンド	
一括設定-全項目	基準となる断面と条件を指定して、工種を一括設定します。
工種一覧	工種を一覧から設定します。
工種指定	範囲指定して工種を設定します。
地下構造物-配置	地下構造物を配置します。
地下構造物-連続配置	地下構造物を連続配置します。
地下構造物-編集	地下構造物を編集します。
地下構造物-削除	地下構造物を削除します。
地下構造物-全削除	全ての地下構造物を削除します。
編集を取り消す	工種設定データの編集を取り消して終了します。
更新して閉じる	工種設定データを更新して終了します。
[出来形設定]メニューのコマンド	
一括設定-全項目	基準となる断面と条件を指定して、工種を一括設定します。
一括設定-出来形項目	出来形管理箇所を一括設定します。
横断指定-基準高	横断 CAD で基準高を設定します。
横断指定-幅	横断 CAD で幅を設定します。
横断指定-法長	横断 CAD で法長を設定します。
横断指定-深さ	横断 CAD で深さを設定します。
横断指定-厚さ	横断 CAD で厚さを設定します。

[出来形設定]メニューのコマンド	
横断指定-断面積	横断 CAD で断面積を設定します。
横断指定-削除	横断 CAD で選択中の断面の出来形管理個所を一括削除します。
平面指定-延長	平面 CAD で延長を設定します。
平面指定-面積	平面 CAD で面積を設定します。
全削除	すべての断面の出来形管理個所を一括削除します。
編集を取り消す	出来形設定データの編集を取り消して終了します。
更新して閉じる	出来形設定データを更新して終了します。
[接続設定]メニューのコマンド	
一括設定-全項目	基準となる断面と条件を指定して、接続線を一括設定します。
一括設定-接続線	接続線を一括設定します。
接続線-移動	平面 CAD で接続線を移動します。
接続線-追加	平面 CAD で接続線を追加します。
接続線-削除	平面 CAD で接続線を削除します。
接続線-観測点関連付け	平面 CAD で接続線に観測点を関連付けします。
3D 形状線	3D 形状線を設定します。
構成点除外	3D 形状を表現するための点として使わないように除外します。
交点設定	横断CADで現況と計画の交点を変更します。
全削除	接続線の設定状態をすべて削除し、構成点除外の設定をすべて削除します。
編集を取り消す	接続設定データの編集を取り消して終了します。
更新して閉じる	接続設定データを更新して終了します。